

定期作況報告

(第4号 令和6年8月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

令和6年7月下旬から8月中旬までの平年との比較による気象は次のとおりである(表1)。

7月下旬：平均気温は差が無く、降水量は137.4mm多く、日照時間は21.4時間少なかった。夏日(最高気温25℃以上)は8日、真夏日(最高気温30℃以上)は3日であった。

8月上旬：平均気温は1.6℃高く、降水量は71.2mm少なく、日照時間は9.7時間少なかった。夏日は7日、真夏日は3日であった。

8月中旬：平均気温は1.3℃高く、降水量は26.2mm少なく、日照時間は25.4時間多かった。夏日は7日、真夏日は2日、猛暑日(最高気温35℃以上)は1日であった。

表1. 気象表

調査項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	22.9	22.9	0.0	23.8	22.2	1.6	23.2	21.9	1.3	23.2	21.9	1.3
最高気温(℃)	28.4	28.6	-0.2	29.4	28.0	1.4	30.0	25.8	4.2	29.3	27.5	1.8
最低気温(℃)	18.9	18.2	0.7	19.2	17.7	1.5	18.0	16.2	1.8	18.7	17.4	1.3
降水量(mm)	195.5	58.1	137.4	9.5	80.7	-71.2	39.0	65.2	-26.2	244.0	204.0	40.0
降水日数(日)	7.0	3.5	3.5	5.0	4.3	0.7	6.0	4.9	1.1	18.0	12.7	5.3
日照時間(hrs)	48.7	70.1	-21.4	47.3	57.0	-9.7	75.7	50.3	25.4	171.7	177.4	-5.7

注) 比布アメダス観測値。平年は過去10か年の平均値。

2. 作 況

1) 水稻 やや不良

5月20日現在：平年並

事由： 播種は平年より4日遅い4月19日に行った。出芽の揃いは良好であった。

移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年に比べ並から1.1cm短く、第1葉鞘高は並から0.2cm長かった。葉数と茎数はほぼ平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は、「ななつぼし」では平年より0.34g軽く「ゆめびりか」では0.12g重かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はいずれの品種とも平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや不良

事由： 移植後の5月下旬が低温寡照で経過したため、生育は停滞した。その後6月上旬および中旬の気温は平年並から高かったものの、6月20日の草丈および葉数は平年並で、茎数は平年より19～23%少なかった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

7月20日現在：平年並

事由： 6月下旬から7月中旬の気温が平年並からやや高く経過したため、生育は回復した。幼穂形成期は平年より1～2日遅く、止葉期は平年並から1日遅く、出穂期は平年並から1日遅かった。7月20日の草丈は平年並からやや長く、主稈の止葉葉数は平年並、茎数は平年並から8%少なかった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

8月20日現在：やや不良

事由： 7月下旬以降の平均気温は平年並から高く経過し、登熟は順調に進んでいる。成熟期の稈長および穂長は平年並で、穂数は9～10%少なかった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

表2. 8月20日の水稻の生育

品種名		ななつぼし			ゆめびりか			
項目 / 年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月.日)	4.19	4.15	4	4.19	4.15	4	
	移植期 (月.日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	
	幼穂形成期 (月.日)	6.24	6.22	2	6.24	6.23	1	
	止葉期 (月.日)	7.09	7.09	0	7.09	7.10	△ 1	
	出穂期 (月.日)	7.20	7.19	1	7.19	7.19	0	
	成熟期 (月.日)		9.04			9.04		
	穂揃日数 (日)	8	8	0	8	8	0	
	登熟日数 (日)		46			47		
	生育日数 (日)		141			141		
移植時	草丈 (cm)	13.2	14.3	▲ 1.1	14.0	14.2	▲ 0.2	
	葉数 (枚)	4.2	4.1	0.1	4.2	4.2	0.0	
	茎数 (本/m ²)	154	147	7	146	155	▲ 9	
	第1葉鞘高 (cm)	2.4	2.4	0.0	2.6	2.4	0.2	
	地上部乾物重 (g/100本)	4.32	4.66	▲ 0.34	4.78	4.66	0.12	
	地上部乾物重/草丈	0.33	0.33	0.00	0.34	0.33	0.01	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.0	8.1	▲ 0.1	8.5	8.4	0.1
		7月20日	10.0	10.1	▲ 0.1	10.8	10.5	0.3
		止葉葉数	10.0	10.1	▲ 0.1	10.8	10.5	0.3
	茎数 (本/m ²)	6月20日	415	538	▲ 123	490	611	▲ 121
		7月20日	719	719	0	770	839	▲ 69
	草丈 (cm)	6月20日	39.8	41.5	▲ 1.7	39.3	38.6	0.7
7月20日		90.6	85.1	5.5	85.7	84.3	1.4	
成熟期	稈長 (cm)	71.9	69.4	2.5	67.4	66.2	1.2	
	穂長 (cm)	17.4	16.8	0.6	17.6	16.9	0.7	
	穂数 (本/m ²)	608	673	▲ 65	713	783	▲ 70	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		50.8			43.0		
	m ² 当たり粒数 (×100)		340			336		
	稔実歩合 (%)		95.7			93.0		
	m ² 当たり稔実粒数 (×100)		325			312		
	同上比 (%)		100			100		
	登熟歩合 (%)		89.0			83.9		
	粒摺歩合 (%)		81.1			78.7		
	屑米歩合 (%)		1.8			3.6		
収量	精玄米千粒重 (g)		22.4			22.7		
	藁重 (kg/a)		65.3			62.6		
	精粒重 (kg/a)		83.3			79.3		
	精玄米重 (kg/a)		68.1			62.7		
	屑米重 (kg/a)		1.2			2.4		
	収量平年比 (%)		100			100		
	検査等級 (等)		1下			2中		

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶年）、平成29年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥：成苗培土Hを約1.43 (kg/箱) 充填、
成分量 N 0.5、P₂O₅ 1.0、K₂O 0.8、MgO 0.2 (g/箱)、
置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 5.0 (g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9 (kg/10a)、堆肥 0 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R5年播種) 良

10月20日現在：不良

事由： 9月中旬に降雨が続いたことから播種作業が遅れ、播種期は平年より6日遅い9月22日、出芽期は平年より4日遅い9月30日となった。播種期が遅かったことから生育量は少なく、葉数、草丈および茎数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「不良」である。

5月20日現在：良

事由： 平年と比較して、根雪始は2日、根雪終は1日遅く、積雪期間は1日短い136日であった。雪腐病発病度はかなり低く、越冬茎歩合はやや高かった。前報以降、越冬前までに生育が進み、さらに4月中旬の気温が高かったことから、平年より草丈は長く、茎数は多かった。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

6月20日現在：平年並

事由： 前報以降も生育が順調に進み、出穂期は平年より6日早かった。草丈は平年をやや上回っているが、茎数は5月下旬の低温・寡照による減少が大きく平年並となった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 成熟期は平年より4日早かった。成熟期の稈長は平年より長く、穂長は平年並で、穂数は有効茎歩合が高かったことから平年をやや上回った。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在：良

事由： 平年より千粒重が軽く、蛋白質含有率もやや低かったが、子実重は平年をかなり上回り、容積重は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

表3. 8月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名		きたほなみ		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.22	9.16	6
出芽期 (月.日)		9.30	9.26	4
出穂期 (月.日)		5.29	6.04	△ 6
成熟期 (月.日)		7.12	7.16	△ 4
越冬茎歩合 (%)		110.1	106.7	3.4
雪腐病発病度		3.1	17.3	▲ 14.2
葉数(枚)	令 5年10月20日	3.3	4.3	▲ 1.0
草丈 (cm)	令 5年10月20日	12.9	18.0	▲ 5.1
	令 6年 5月20日	54.0	42.7	11.3
	令 6年 6月20日	94.2	88.4	5.8
茎数 (本/m ²)	令 5年10月20日	411	633	▲ 222
	令 6年 5月20日	1051	916	135
	令 6年 6月20日	564	562	2
成熟期	稈長 (cm)	85	78	7
	穂長 (cm)	8.6	8.6	0.0
	穂数 (本/m ²)	559	452	107
子実重 (kg/10a)		740	515	225
同上平年比 (%)		144	100	44
容積重 (g/L)		833	842	▲ 9
千粒重 (g)		40.4	42.5	▲ 2.1
蛋白質含有率 (%)		8.5	9.2	▲ 0.7
検査等級 (等)			1	—

- 注1) 平年値は前7か年中、収穫年における令和5年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。
 2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 良

5月20日現在：良

事由： 播種は平年より1日早い4月17日に行った。播種後、平年より気温が高く経過したことから、出芽期は平年より4日早い4月28日であった。出芽期が早かったことに加え、5月中旬の気温が平年より高く経過したため生育は良好で、草丈、茎数とも平年を上回っている。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

6月20日現在：平年並

事由： 出芽期以降も生育は順調に進み、出穂期は平年より3日早い6月15日だった。草丈は平年よりやや高いが、5月下旬が低温寡照であったことから茎数は平年よりやや少ない。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 6月下旬以降、気温は平年並から高く推移するとともに、日照時間も平年並から多かったことから、穂数は平年よりやや多い。稈長は平年並であるが、穂長はやや長い。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在：良

事由： 出穂期は平年より3日早く、成熟期は平年より2日早かった。穂数は平年より多く、穂長は平年よりやや長かった。子実重は平年比119%であった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

表4. 8月20日の春まき小麦の生育

品 種 名 項 目 / 年 次		春よ恋		
		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		4.17	4.18	△ 1
出芽期 (月.日)		4.28	5.02	△ 4
出穂期 (月.日)		6.15	6.18	△ 3
成熟期 (月.日)		7.24	7.26	△ 2
草丈 (cm)	5月20日	28.8	21.9	6.9
	6月20日	84.6	80.2	4.4
茎数 (本/m ²)	5月20日	897	650	247
	6月20日	686	752	▲ 66
成熟期	稈長 (cm)	91	93	▲ 2
	穂長 (cm)	9.4	8.3	1.1
	穂数 (本/m ²)	558	508	50
子実重 (kg/10a)		531	447	84
同上平年比 (%)		119	100	19
容積重 (g/L)			824	
千粒重 (g)			38.7	
蛋白質含有率 (%)			11.5	
検査等級 (等)			1	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

4) 大豆 やや良

5月20日現在：

事由： 播種は、平年より1日遅い5月20日に行った。

6月20日現在：平年並

事由： 播種後の5月下旬は平年より低い気温で推移したため、出芽期は平年より5日遅い6月4日であった。出芽後、6月中旬は高い気温で推移し、主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年並である。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 開花期は平年より1日早かった。6月下旬以降、気温が平年並から高く推移したため、主茎長はやや長く、主茎節数と分枝数はやや多い。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在：やや良

事由： 7月下旬以降の気温が平年並からやや高く推移したことにより生育は順調に進み、着莢数は平年より多かった。なお、7月23日から24日にかけての豪雨により試験区の一部が倒伏した。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

表5. 8月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.20	5.19	1
出芽期 (月.日)		6.04	5.30	5
開花期 (月.日)		7.11	7.12	△ 1
成熟期 (月.日)			9.17	
主茎長 (cm)	6月20日	15.5	13.5	2.0
	7月20日	57.9	54.9	3.0
	8月20日	60.1	59.0	1.1
	9月20日		58.3	
	成熟期		58.3	
主茎節数 (節)	6月20日	4.1	3.8	0.3
	7月20日	10.1	9.5	0.6
	8月20日	10.0	10.2	▲ 0.2
	9月20日		10.1	
	成熟期		10.1	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.4	5.7	1.7
	8月20日	7.3	6.4	0.9
	9月20日		6.1	
	成熟期		6.1	
着莢数 (個/株)	8月20日	102	81	21
	9月20日		75	
	成熟期		75	
子実重 (kg/10a)			404	
同上平年比 (%)			100	
百粒重 (g)			33.9	
屑粒率 (%)			1.6	
検査等級 (等)			2中	

注1) 平年値は前7か年中、令和5年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

5) 小豆 良

6月20日現在：平年並

事由： 播種は、平年より1日早い5月23日に行った。主茎長、本葉数ともほぼ平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 前報以降も生育が順調に進み、分枝数は平年並であったが、主茎長は平年よりやや長く、本葉数は平年より多かった。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在：良

事由： 開花期は平年より1日早かった。7月下旬以降気温は平年並から高く推移し、7月下旬のまとまった降雨で土壌水分も十分であったことから地上部生育が旺盛となり、主茎長は平年よりかなり長く、本葉数および分枝数は平年よりやや多く、莢数は多かった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

表6. 8月20日の小豆の生育

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.23	5.24	△ 1
出芽期 (月.日)		6.09	6.08	1
開花期 (月.日)		7.22	7.23	△ 1
成熟期 (月.日)			9.10	
主茎長 (cm)	6月20日	5.5	5.0	0.5
	7月20日	30.4	26.3	4.1
	8月20日	83.1	60.5	22.6
	成熟期		67	
本葉数 (枚)	6月20日	1.4	0.9	0.5
	7月20日	9.4	8.0	1.4
	8月20日	13.5	12.6	0.9
主茎節数 (節)	成熟期		13.5	
分枝数 (本/株)	7月20日	5.8	5.7	0.1
	8月20日	6.8	6.0	0.8
	成熟期		6.0	
着莢数 (個/株)	8月20日	84	60	24
	成熟期		54	
子実重 (kg/10a)			336	
同上平年比 (%)			100	
百粒重 (g)			13.7	
屑粒率 (%)			4.5	
検査等級 (等)			2中	-

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を示す。

6) ばれいしょ 平年並

5月20日現在：

事由： 植付けは、平年より1日遅い5月10日に行った。

6月20日現在：平年並

事由： 植付け後、5月中旬の気温が高く推移したことから、萌芽期は平年より1日早かった。
茎長はほぼ平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：平年並

事由： 開花始は平年より1日早かった。茎長は平年より長い、やや開帳気味であった。6月下旬以降、日照時間が平年並から多く推移したことから、でん粉価は平年を上回ったが、上いも数、上いもの平均重および上いも収量は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

8月20日現在：平年並

事由： 上いも数、上いもの平均重および上いも収量は平年並であった。でん粉価は、7月下旬のまとまった降雨により土壌が湿潤な状態が続き、前報からやや低下したが平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表7. 8月20日のばれいしょの生育

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.09	1
萌芽期 (月.日)		5.27	5.28	△ 1
開花始 (月.日)		6.21	6.22	△ 1
枯凋期 (月.日)			8.25	
茎長 (cm)	6月20日	34.8	30.8	4.0
	7月20日	55.2	45.6	9.6
上いも数 (個/株)	7月20日	8.6	8.6	0.0
	8月20日	10.4	9.9	0.5
上いもの 平均重 (g)	7月20日	69	72	▲ 3
	8月20日	97	98	▲ 1
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2624	2751	▲ 127
	8月20日	4492	4317	175
でん粉価 (%)	7月20日	15.2	14.0	1.2
	8月20日	14.8	14.7	0.1
収 穫 期	上いも数 (個/株)		10.3	
	上いもの平均重 (g)		100	
	上いも収量 (kg/10a)		4582	
	同上平年比 (%)		100	
	中以上いも収量 (kg/10a)		4071	
	同上平年比 (%)		100	
	規格内いも収量 (kg/10a)		3723	
	同上平年比 (%)		100	
でん粉価 (%)		14.3		

注1) 平年値は前7か年中、令和4年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。